SDGs新聞	三菱地所レジデンス株式会社

災害が起きたときの集合場所を決めておくこと

SDGsラジオを読んでみよう！

「おはしも」を全部言えますか？おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない。
これは、地震や津波などの災害が起きた際の合言葉で、避難訓練で教わりましたよね。
災害時にはどう行動すればいいか？　きちんと覚えておくことが重要です。
マンションなどの住まいを作る会社「三菱地所レジデンス」では、安心・安全な毎日を送れるように、
「そなえるドリル」という防災ツールを作り、たくさんの人に、災害に備えてもらうための活動を続けています。
その中で取り上げている内容から、ここで質問です。
おうちの人と、災害が起きたときの集合場所は決めていますか？
災害時には、家族がどこにいるかわからず、電話やインターネットが使えない可能性もあります。
だからこそ、集合場所を必ず決めておきましょう。
「そなえるドリル」は、インターネットからも見られますので、おうちの人と見ながら話し合ってください。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：「そなえるドリル」の使い方・ダウンロード
（三菱地所レジデンスHPより）

「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」、まとめると「おはしも」。これは、地震や津波などの災害が起きたときに、「正しい行動をとるための合言葉」です。みなさんも、避難訓練の際に先生から教わったと思います。災害時にはどのように行動すればいいかきちんと覚えて、しっかりと準備しておくことが「防災」にとってとても重要なことです。そこで、マンションなどの住まいを作る会社「三菱地所レジデンス」では、災害に備えるための取り組みのひとつとして、「そなえるドリル」というツールを作りました。ここには、災害時の困ったことや、防災の備えが紹介されています。

画像参照：「そなえるドリル」（三菱地所レジデンスHPより）

「そなえるドリル」は、家族と相談しながら問題を最後まで解くと、家族の防災計画書が完成します。ではその中から、みなさんに問題です。災害が起きました。おうちの人との集合場所は決めていますか？災害が起きた時、家族がどこにいるかわからず、また、携帯電話やメール、SNSなどが使えない可能性もあります。そのため、家族との集合場所をあらかじめ決めておくことはとても大事です。「平日昼、平日夜、週末・休日昼、週末・休日夜」のパターンで、それぞれの場合の行動をじっくりと考えながら、集合場所を決めましょう。「そなえるドリル」はインターネットでも見られるので、おうちの人としっかりと話し合いながら準備を進めていってください。

キーワード

災害

地震や台風、洪水などが被害をもたらすことを「災害」と言います。これらは人々の生活に大きな影響を与え、家や道路を壊したり、けが人が出ることもあります。

避難訓練

災害が起きた時に、安全な場所に避難するための練習を「避難訓練」と呼びます。小学校や中学校、高校では年数回行っています。

防災

地震や台風などの災害から身を守るための準備や対策をすることです。

対象ゴール

みなさんにできること！

災害が起きたときのために集合場所を家族みんなで決めておきましょう。

おさらい

- 災害が起きた際には、家族との連絡が取りづらくなる。
- もしもに備えて、家族との集合場所を決めておくことが大切。
- 三菱地所レジデンスが作った「そなえるドリル」で、家族の備えが考えられる。

メモ

SDGs ラジオ